



岩松小学校だより



学校だより 第21号

令和8年9月25日発行

発行者 校長 真子靖弘

地域の温もりに触れたシルバーウィーク

シルバーウィーク期間中、ご家庭で楽しい時間を過ごされたでしょうか。

私はこの連休中、岩松地区で開催された「石体まつり」と「江里山ひがんだまつり」に行ってきました。恥ずかしながら石体地区を訪れたのは今回が初めてだったのですが、地域全体の温かな雰囲気にも包まれたとても素敵なお祭りでした。「石体太鼓」を演奏するメンバーの中に本校の卒業生を見つけ、たくましく成長した姿に大きな元気をもらいました。また、「江里山ひがんだまつり」では、美しく色づく棚田と鮮やかなひがんだが織りなすコントラストに、改めて深く感激いたしました。

前号の学校だよりでも触れましたが、岩松の子どもたちには、こうした身近にある地元の素晴らしさに気づき、心で感じ、大切にすることを育んでほしいと願っています。その先にはきっと、自らの手で岩松（小城市）のまちづくりに主体的に関わる頼もしい姿があるはずです。



図書室が熱い！

子どもたちの読書好きを増やそうと、司書の天本先生、図書担当の鹿山先生、そして児童会図書委員会のメンバーが趣向を凝らした図書室づくりに励んでいます。

先日の昼休みには、天本先生による「読み聞かせ」と、図書委員会主催の「第2回ビブリオバトル」が行われました。読み聞かせのコーナーでは、低学年の子どもたちが目を輝かせてお話を耳を傾けていました。また、ビブリオバトルには4年生3名が出場し、お気に入りの本を熱くアピール。投票の結果、久富一輝さんが紹介した『楽しくお手伝い』が見事チャンプ本（最優秀賞）に輝きました。

本との素敵なお出会いが増える、実り豊かな「読書の秋」になりそうです。



描いて再発見！大好きな岩松の町並みと風景

9/17(木)、4～6年生がスケッチ会を行いました。「祇園さん（須賀神社）周辺」「天山神社周辺」「校舎」の3グループに分かれ、それぞれが思い思いの場所でキャンバスに向かいました。

須賀神社や天山神社をはじめ、村岡総本舗や天山酒造など、岩松には描きたくするような歴史ある建物や豊かな自然が溢れています。子どもたちは各自のタブレットに構図や光の加減を写真で記録しており、今後はその下絵をもとに丁寧に色を重ね、作品を仕上げていく予定です。

また、9月24日（木）には1・2年生が市バスで大和町の「馬ひろば」へ出かけ、目の前で見える馬の姿を元気にスケッチしました。どんな素敵な作品が完成するか、今からとても楽しみです。



スポーツの秋、熱い応援で1つに！

9/18(金)、サガン鳥栖の「さがのこども応援プロジェクト」が本校で開催され、元選手の**高橋義希**さんたちが駆けつけてくださいました。

子どもたちは11/7(土)の試合観戦を心待ちにしながら、サガン鳥栖の歴史を映像で学び、熱気あふれる応援練習に汗を流しました。プロの熱量や地域への想いに直接触れた**今回の経験が、スポーツを楽しむ心や夢を描くきっかけとなれば幸いです。**



AI教材 Qubena の成果

学校だより第17号でお伝えしたAI教材「Qubena」で、4～7月の月間平均解答数が「500問超え」となり、**全国上位として表彰**されました。子どもたちの挑戦の成果です。今後も「主体的・自律的な学び」をサポートしてまいります。

